
編集後記

技報も今回で10号を数えるに至りました。第1号より公団の技術発表会などで発表された論文の中から優れたものを推薦し、査読し、広く多くの方々に読んで頂こうという編集方針は今でも変わっていませんが、10年も経ると社会情勢が変わり、情報が氾濫し、我々技術者の技術に関する知識の取り入れ方や表現方法も変わってきました。経済学書や歴史書が漫画化され、技術書や新聞もカラー頁が多くなり、あの難しいと思われたアインシュタインの相対性理論やホーキングの宇宙論も一般人に分かり易いようにテレビで編集し放映される時代になってきました。そのような中で、技報を今までと同じ方針で編集し配布しても、はたして皆様が読んでくだされるかどうか心配し議論したところです。今でもどのように編集したら皆様に愛読していただけるか分からないのですが、今回は10号ということで特別論文として当公団の技術審議会の委員長岡田清 京都大学名誉教授に依頼しましたところ快く引き受けてくださいました。次号からもどのように編集したらより多く人達に読んでいただけるか委員・幹事一同研究していくつもりですが、皆様からもこの問題について提案がいただければ幸と思います。

最後になりましたが、巻頭言を執筆していただいた魁受審議役をはじめ論文発表者ならびに発刊にご尽力いただいた委員、幹事の皆様に深く感謝致します。

(本村 記)
